

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成27年2月28日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670105230
法人名	医療法人 春風会
事業所名	グループホーム はるかぜ新屋敷
所在地	鹿児島県鹿児島市新屋敷町4番1号 (電話) 099-222-0321
自己評価作成日	平成27年1月29日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

市街地に位置していますが、比較的静かな環境にあります。近くには甲突川河川敷や公園があり、散歩をしながら季節感を味わうことが出来ます。

自立支援を念頭に置き、安全に、安心して生活できるようなケアを実践できるよう、毎月ミーティング、勉強会を開催しています。

出来るだけ個々の生活リズムで過ごせるよう食事以外の時間は決まっております。また、本人の希望などにより買い物に出かける機会を多く作るよう心がけています。

季節に応じた行事には特に力を入れており、スタッフ手作りにこだわった特別食も併せて提供しています。

2ヶ月に一度運営推進会議を開催し地域の方々と交流を図れる機会を作っています。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成27年2月18日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

・当事業所は周辺に中学校や警察署・スーパーマーケット・甲突川・公園などがあり、散歩や買い物の際には多くの人とふれあいながら生活をしている。

・緊急時の対応や医療のバックアップ体制が整っており、看護師の配置もある。

・町内会に加入し、地域行事に積極的に参加し、事業所の行事にも地域住民やあいご会・ボランティア等が参加して、日常的に交流している。

・災害対策として、定期的な避難訓練を実施し、町内会の防災訓練にも参加し、地域住民との協力体制もできている。

・管理者は、話しやすい環境を整えて職員とのコミュニケーションを図り、職員の意見や気づきを積極的に取り入れている。職員は自らの資質向上を目指している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	法人の理念と事業所理念を挙げており、朝礼時にみんなで唱和している。理念に基づいたケアを行えるよう、何かあったらその都度話し合っている。	法人理念と地域との関連性を重視した事業所理念を作り、玄関やホールに掲示している。朝礼時に唱和し、日々確認しあって具体的なケアについて意見の統一を図っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の方々の慰問（日本舞踊など）を受け入れたり、地域の行事（餅つき、運動会、お花見など）にも外出可能な方は参加している。また、忘年会や七夕といった行事には地域の方を招き、交流の場を設けている。	自治会に加入し、回覧板等で地域と情報のやり取りがある。地域の各種行事にも積極的に参加し、事業所行事の七夕などに多くの地域住民の参加がある。あいご会の子供達との交流や中学生の職場体験、高校生の実習、ボランティアの受け入れなども行っている。認知症に関わる相談も受けたり日常的に交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	2ヶ月に1回の運営推進会議の際に認知症について説明し、意見交換を行っている。地域の方の認知症に関わる相談を受けている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2ヶ月に1回の運営推進会議でホームでの現状報告や行事などの報告を行なっている。その際でた意見を元に地域の方々にも協力してもらい、行事などに活かしている。</p>	<p>会議は定期的開催している。事業所の状況や外部評価の報告などがなされ、意見交換を行っている。また、水害を想定しての安全な避難についても当会議の具体的なアドバイスが活かされている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。</p>	<p>年に1回介護相談員の訪問を受け入れている。また運営推進会議の際、地域包括センターの職員に参加して頂き、取り組みを伝えている。</p>	<p>市の担当者とは利用者の相談や情報を交換してアドバイスを得ている。地域包括支援センターとは運営推進会議を通じて協力関係ができています。介護相談員の受け入れも行っている。市主催の研修会には積極的に参加している。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>定期的に勉強会や研修にて身体拘束について学んでいる。その際、検討会を開催し、具体例を挙げるなどし、身体拘束廃止に関して意識の確認をしている。身体拘束はしていない。</p>	<p>身体拘束廃止委員会を設け定期的な勉強会を実施し、身体拘束をしないケアを実施している。言葉による拘束についても日々確認し配慮している。昼間は施錠せず職員間の連携で利用者の自由な生活を支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされないよう注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>職員一人一人が適切なケアをするために定期的に勉強会や研修にて高齢者虐待について学んでいる。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>勉強会や研修で学んではいる、関係者に対しては入所時に管理者が個々の必要性を話している。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時に重要事項説明書を基に事業所で出来ること、出来ないことを具体的に説明し、同意を得るようにし、ご家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い、理解、納得をしてもらっている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>利用者に関しては意見、要望を伝えやすい関係性、雰囲気作りに努めており、ご家族へは面会簿ノートを作り、自由に意見を記帳して頂けるようにしたり、年1回の家族会の開催やアンケートを実地している。</p>	<p>利用者が意見や要望を言いやすい雰囲気作りに留意し、思いを聞いている。家族からは面会や家族会・アンケートなどで意見を出してもらおう工夫をしている。出された意見や要望等は職員で話し合い運営に反映させている。家族会で話し合い大掃除をされている。2ヶ月毎の園便りには個々人のコメントを記入して送付している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	より良いサービスに向けての提案を取り入れる為、月1回のミーティングに限らず、職員の意見や提案を聞き、運営に反映出来るようにしている。	代表者や管理者は、ミーティング等で職員の意見や提案を聞く機会を設け、コミュニケーションを図り、運営に活かしている。相談事は個別に聞き適切にアドバイスをしている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	実績などにより給与などの査定があつたり、資格取得者に手当を給付したりと就業規則などの見直し、改善がなされている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎月のミーティングの際、職員の勉強会を開催し、お互いの意識レベルの向上を図っている。また、外部で行われている研修会などに参加出来るよう心がけている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市町村で開催される介護研修で情報交換を行ったり、同じ系列の事業所に助勢に行った際にサービスを見たり、携わることで学ぶことが出来る。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>家族は勿論のこと、本人にも出来るだけ入居前に施設見学に来てもらえるよう話している。来られた際は施設を案内し、どのような環境か知って頂き、不安を少しでも軽減できるようにしている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>入居前より、ご家族の思いを引き出されるよう働きかけ、事業所としての対応を話し合い、お互いすり合わせ、関係作りに努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本人とご家族がまず何を必要としているかをしっかり把握し、それに添った支援を行っている。また、希望により、他のサービス利用（フットケア、マッサージなど）の利用も行なっている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>掃除や洗濯、買い物、食事などを共に行い、レクレーションやお茶の時間を通し、楽しみを共有して、家庭的な雰囲気作りに努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	季節ごとのイベントや行事を一緒に行い、コミュニケーションがとれるよう、交流の場を築いている。参加できない家族の方には2ヶ月に一度の新聞に職員の顔写真をのせ、日常生活を含め、報告している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	知人や友人などの面会がある場合は、気軽に話ができるように、居室に案内するなど環境作りに努めている。また、本人が意思疎通が困難な場合は、スタッフがコミュニケーションの手伝いを行なっている。	知人や友人の訪問を奨励し、居室を開放して継続的關係が途切れないよう働きかけている。自宅に職員と訪問をしたり、家族の協力で馴染みの理美容院を利用したり外出や墓参なども支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	性格、相性、他利用者との関わり合いを考慮して、座席の位置や日常生活、レクなどの大まかな組み合わせやグループ分けを行なっている。また、会話の中で誤解が生じそうな時は間に入り、会話を助ける支援を行っている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院や他施設への転出後も面会するなどして、関係性を維持できるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の生活の中で本人の思いを言葉、表情から読み取り、思いに対して個別に対応できるように努めている。買い物に行きたいと言われたら段取りしている。	日々の関わりの中で思いや意向の把握に努めている。把握が困難な場合には、家族や馴染みの友人・知人からの情報も得て、幅広くその人らしい生活ができるように支援に取り組んでいる。帰宅願望で不安定な利用者の思いを大切に一緒に何度も行動することで落ち着いた事例もある。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に本人、ご家族他からの情報提供に加え、日々の生活の中でもこれまでの生活歴を話題に会話したりと把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居時に申し送りにて前日の入居者の状況を確認しスタッフ全員で把握に努めている。また、本人のペース、能力に合わせた支援を行っている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	状態変化の際に本人、家族、スタッフにおいて話し合い介護計画を作成している。	本人や家族の意向を把握し、医師の意見を参考に職員で話し合い、個々に応じた介護計画を作成している。6ヶ月ごとにモニタリングを実施し、見直している。状況が変化したときは現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	業務日誌、ケア記録、身体状況記録に毎日の状況、ケアの実践、気づきを入力し、職員が目を通すようにしている。また、その他に共有事項を申し送りノートに記入し、情報共有に努め、介護計画の見直しに生かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人や家族の希望により、フットケア、訪問歯科の受け入れを行っている。また必要に応じ通院、個別に買い物や散歩の付き添い等必要なる支援は柔軟に対応している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	運営推進会議で地域の方々や包括支援センター職員の参加あり、周辺情報等の情報交換を行い、利用者の支援に役立てている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前からのかかりつけ医の受診を支援している。複数の関係医療機関と密に連絡をとり、適切な医療を受けられるようにしている。	本人や家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。協力医療機関のほか、他科の通院は家族の協力を得ながら支援している。受診結果は家族と事業所が共有している。緊急時の対応など連携を取りながら適切な医療を受けられるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとれた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	施設内に准看護師がおり、利用者の健康管理、医療面でも状態の把握を行っている。また、協力医療機関に24時間電話での対応が出来る体制が整っている。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	定期的に面会を行う、利用者の状態を把握している。また面会の際病院関係者との情報交換を行っている。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	ホームとして出来る事、出来ない事の説明を随時行い、お互い意思確認、同意を得ながら取り組んでいる。	契約時に重度化や終末期における対応の指針を説明し、同意を得ている。状況変化に伴い、その都度、本人や家族の意向を確認し、主治医と連携して家族と共に取り組んでいる。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	救命救急の講習や勉強会を行い、年に一回は消防隊も交え訓練を行っている。また、安全対策マニュアルを作成し、見直しや確認を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>消防、地域の方の協力を得て年2回、入居者と共に避難訓練を行い、避難経路の確認、消火器の使い方、AEDの使い方の訓練を行っている。</p>	<p>年2回消防署立会いのもと、昼夜間想定避難訓練を実施している。スプリンクラーも設置され防災設備も整っている。消火器やAEDの使い方の訓練も行っている。地域住民との協力体制もできており、災害時への備蓄もある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	理解はしているが、忙しい中での介護の声かけに、大きな声になったり、人前でトイレの声かけをしてしまっている。	利用者の人格の尊重や誇りに配慮しながら定期的に勉強会を行って職員の資質向上に取り組んでいる。トイレ誘導や入浴時など羞恥心に対する配慮を行っているが、難聴の利用者には声が大きくなることがある。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の行動や言動から気持ちを察する事に心がけ本人が自己決定しやすいように働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	時間の制限はしておらず、起床時間もバラバラである。買い物に行きたいとあったら段取りし行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	整容には気を付けている。近所の理美容室に出かけ、カットや毛染め、顔そりなどを行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	その方に合った食事の形態を考慮している。好みや嗜好品も大切にしている。行事食に力を入れている。	利用者の希望に添った献立や食事形態を工夫している。誕生会や行事食など手作りで食事が楽しみなものになるよう工夫している。利用者個々人の力を活かしながら準備や後片付けを職員と一緒にいたりしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の状態にて、医療的事、習慣的事を把握し、食事量、水分量を随時確認し対応している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後本人の能力に応じて口腔ケアを行い、仕上げをスタッフが義歯ブラシや歯間ブラシなどで介助行っている。また必要時には歯科受診を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個々の排泄パターンを把握し、声かけにて自然排泄を促せるよう案内を行っている。（本人の状態に合わせポータブルトイレやオムツ使用を行っている）	一人ひとりの排泄パターンを把握し、声かけや誘導でトイレでの排泄を大切にしている。夜間は安全のためオムツやポータブルトイレ利用者もいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	ヨーグルトや果物の提供を心がけ、個々の排便パターンに応じてトイレ案内を行っている。また、特に便秘の酷い入居者に対しては腹部マッサージやホットタオルなどの使用も試み便秘の予防に取り組んでいる。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴日は決まっているが、柔軟な対応を心がけ入りたい時に入ってもらえるようにしている	基本的には週3回であるが、体調や希望に添って、いつでも入浴できるよう対応している。入浴を拒む利用者には声かけや時間など工夫して、入浴を楽しめるよう支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	本人の希望やその時の状況により昼寝などの声かけを行っている。また日中は季節に応じて散歩やラジオ体操などの活動で気持ち良く眠れるよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬ファイルを作成し職員間での情報の共有が図れており、服薬時は飲み込むまでの見守りを行っている。また内容の変更時により状態観察必要な場合は申し送りと同時に薬ノートを利用している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	食事の下ごしらえの手伝い等、個々の能力を発揮できる場面作りを行っている。また利用者の楽しみ、気分転換を見つけ出して個人に応じた支援を行っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	利用者の体調や天気を考慮して近隣の散歩や買い物に出かけている。また車椅子での散歩や事業所のマイクロバスを利用している。希望があれば家族の協力を得て墓参りや外出なども行っている。	日常的には、体調などを考慮して近くの公園や買い物に出かけている。車椅子を利用しての外出支援も行っている。年間計画で地域の行事や花見・動物園・ソーメン流しなど、家族も参加して出かけている。家族の協力で外食や墓参にも出かけている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	家族や本人の希望によりお金を所持されている方もおり、自由に買い物など出来るように支援している		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	家族に年賀状を出すための支援を行っている。また電話希望のある方には自由に出来るようにしている。家族からの電話があった時、本人に代わったりしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節を感じられるようにしたり、清掃にも力を入れている。温度、湿度チェックを随時行っている。必要に応じて加湿器やソリューションウォーター等使用し、共用空間づくりに努めている。	ホールは広く開放的で、温度や湿度に配慮し清潔である。ゆったりしたソファや畳のコーナーもある。玄関には手作りの雛飾りや季節の花が活けてあり、居心地よく過ごせる工夫がされている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホールや和室にソファを設置し誰でも利用できるようになっている。セミパブリックステーション的場所を作っている		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族と本人に相談をし、居室を自由に環境を整えてもらっている。仏壇をおいている方もいらっしゃる。自由に作ってもらえるようにお声かけしている。	居室はベットとタンスが備え付けである。仏壇やテレビ・家具・家族の写真など、使い慣れた物や家族の思いが伝わるものが持ち込まれ、安心して過ごせるよう配慮されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	利用者一人ひとりが安全で自由に行動出来るような環境整備を行っている。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない